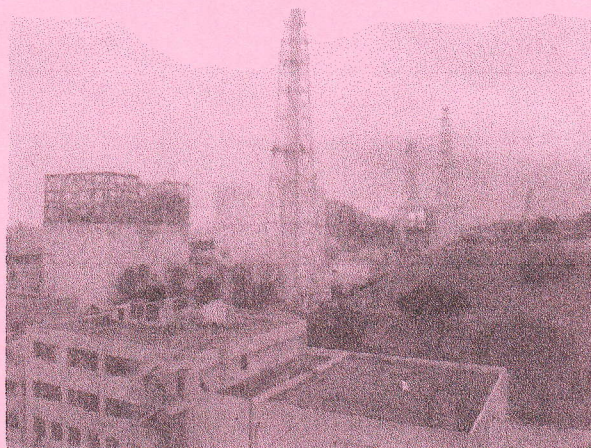


3・11 原発事故から3年—

福島からの報告

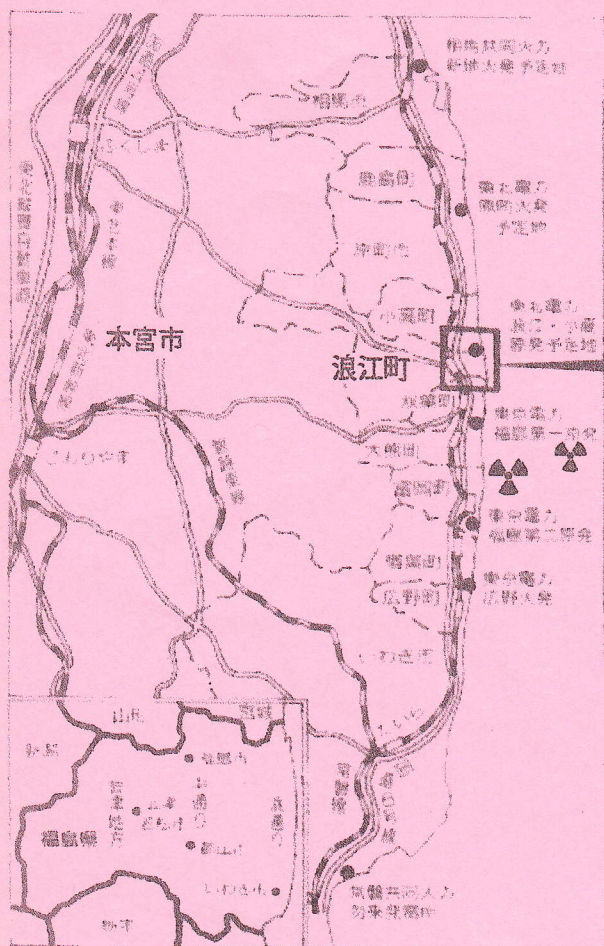
たちばな りゅうこ
お話 **橘 柳子**さん



福島第一原子力発電所1～4号機 撮影 2011.3.15 東京電力

「先の戦争責任の追求があいまいなまま、今日にいたった日本はまた再び、原発事故の責任をあいまいなままにするつもりなのではないでしょうか。戦争と原発事故、この2つにより、わたしは2度棄民にされたと思っております」橘柳子さん (73歳)

原発事故はいまだに事故収束の見通しもみえません。故郷の浪江町を追われて本宮市の仮設に暮らす橘さんに、原発事故は故郷になにをもたらしたのか、日々の暮らし、事故のこと、除染状況など、先の見えない日々について、マスコミでは報道されない私たちの知りたいこと、聞きたいことを話していただきます。



2013年12月8日(日)

14:00~16:30 (開場13:45)

とよなか男女共同参画推進センター

すてっぷ 視聴覚室

(阪急宝塚線豊中駅下車 エトレとよなか5階)

定員 42名(先着順)

入場料 700円

主催 フリークの女たちの会

協賛 とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ

指定管理者 一般財団法人 とよなか男女共同参画推進財団

連絡先 フリークの女たちの会 和田 06-6855-3746 上田 06-6841-6550

●一時保育あり 1歳から小学3年生まで(子ども一人につき525円)
要予約 12月1日(日)までにフリークの女たちの会へ